

風しんの発生状況について(2019年3月24日現在)

2019年(平成31年)3月27日
長野県健康福祉部保健・疾病対策課

1 風しんの発生状況

2018年7月下旬以降、関東地方を中心に風しん患者数が大幅に増加しています。長野県でも2018年第33週(8月13日～8月19日)に患者が発生して以降、2018年20人、2019年12人の発生を確認しました。

2019年に発生した12人のうち、男性は11人、女性は1人で、年代別では30歳代1人、40歳代7人、50歳代4人です。地域別では、伊那及び大町保健所管内が各1人、松本保健所管内が3人、諏訪保健所管内が7人です。風しんの予防接種歴はなしが6人、不明が6人です。

表1 2012年～2019年の発生状況 (長野県は2019年3月24日まで、全国は2019年3月17日まで)

| 年 | 2012年 | 2013年 | 2014年 | 2015年 | 2016年 | 2017年 | 2018年 | 2019年 |
|-----|-------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 長野県 | 14 | 62 | 2 | 1 | 3 | 4 | 20 | 12 |
| 全国 | 2,386 | 14,344 | 319 | 163 | 126 | 93 | 2,917 | 937 |

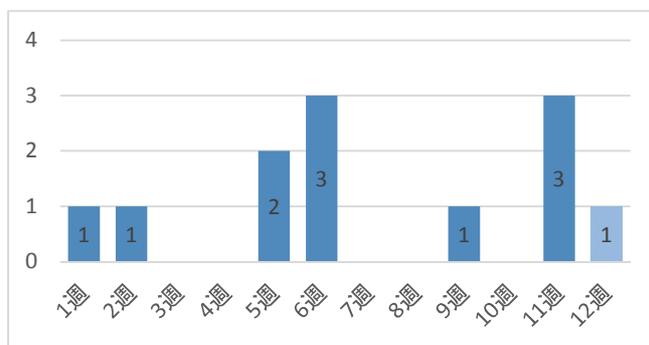


図1 週別発生状況(2019年、長野県)

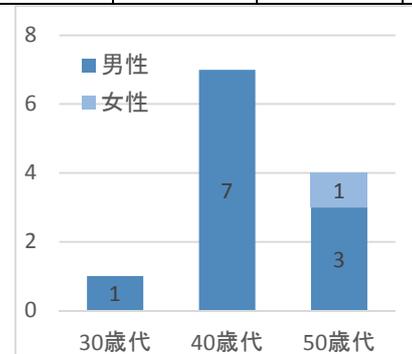


図2 年代別、性別発生状況(2019年、長野県)

2 検査実施状況

これら12例は、全て検査確定例です。PCR法で病原遺伝子が検出されたものが8例、IgM抗体により確認されたものが3例、PCR法及びIgM抗体の両方で確認されたものが1例です。

PCR法で確認された9例のうち、遺伝子型別が判明したのは5例で、全て1E型でした。この1E型は、今回の流行において全国で一番多く検出されている型です。

3 風しんの予防策

風しんは、麻しん(はしか)と同様に予防接種で防げる病気であり、個人で出来る有効な予防方法です。

予防接種法による定期接種の対象の方(第1期:1歳児、第2期:小学校就学前1年間)は、早めに確実に受けましょう。詳しくはお住いの市町村にお問い合わせください。

その他の方は、医療機関で任意接種(費用は自己負担)として接種することが出来ます。特に、妊娠を希望されている女性、抗体を保有していない妊婦の配偶者や同居されている方で、予防接種を2回受けていない方、予防接種歴や風しんり患歴が不明な方は、かかりつけ医などに相談の上、抗体検査や予防接種の検討をお願いします。

4 長野県で行っている風しん抗体検査事業

県内の保健所(保健福祉事務所)で、妊娠を希望される女性及び風しん抗体価の低い妊婦等の配偶者・同居家族の方は風しんの抗体検査を無料で受けることができます(但し、風しん抗体価検査を受けたことのある方、予防接種を受けたことのある方、風しんにかかったことのある方は対象外となります)。

詳しくは、お近くの保健所(保健福祉事務所)にお問い合わせください。

長野県ホームページ「風しんについて」もご覧ください

<http://www.pref.nagano.lg.jp/hoken-shippei/kenko/kenko/kansensho/joho/rubella.html>